



創立30周年～新しいステージへ

病院増改築事業の
取り組み

当院は今年病院創立30周年。これを機に、回復期リハビリテーション機能の強化充実を図るとともに、慢性期医療提供機能の整備・充実をめざし、病院増改築事業に取り組みます。

2025年。団塊の世代が後期高齢者に突入し、人口減少、超高齢社会が到来します。この年をひとつの着地点として、税と社会保障の一体改革、医療提供機能体制の再編成と医療機能の分化がすすめられています。各医療機関は2025年における自院のあるべき姿に向けて、地域でのポジションとミッションを踏まえつつの「特色ある病院づくり」に取り組んでいます。当院は今日まで、リハビリテーション医療と、これを支える慢性期医療機能の充実に向けてきました。地域の皆さまに支えられ30年。この間、数多くの建設的なご意見や要望を頂戴しました。医療提供機能のいっそうの充実、患者サービスの更なる改善の思いは積もるものの、建築構造上の限界がありました。今回の増改築事業は、医療環境の変化と当院の将来を見据えつつ、今日までの当院の医療機能を発展継承しながら、少しでもご要望にお応えできればと考え取り組むものです。また国・県がすすめる「脳卒中」対策への今日まで以上の貢献を果たさせていただこうと考えています。事業の概要は次の通りです。回復期リハビリテーション病床のあるB棟を増築・増床し、現在の複数階(2階と3階で60床)1看護単位を分離し、2階40床1看護単位、3階40床1看護単位として独立させ、回復期リハビリテーション病床を20床増やし、その機能の量的、質的充実を図ります。反面、慢性期(療養)病床は20床減らし、慢性期医療機能の向上と療養環境の改善・充実を計画しています。併せてリハビリテーションセンターの機能充実を図ります。また外来機能(診察室、検査室)を増築部

分に移転し、外来診療サービス提供環境の改善、待合ホールの拡充を行います。また「健康教室」等に利用をしていました現在のB棟5階の多目的ホールは増築部分に移し、脳卒中予防研修等、広く地域の皆さんにもご活用いただける「研修センター」として新しく生まれ変わる予定です。この工事は増築と改修の、大きく2段階に分けてすすめられ、最終工事完了までは約1年半の年月がかかるものと思います。この間患者さん、地域の皆さんにはいろいろとご迷惑をおかけすることとなります。どうかご理解と協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

平成25年度入社式
★★★新入職員25名★★★

暖かな春の日ざしを感じられる4月1日(月)。当院では平成25年度入社式を行いました。今年の新入職者は看護師・セラピストをはじめ25名。坂口院長より「がんばって下さい」の歓迎の言葉をそえて、一人一人の手に辞令が交付されました。新入職員代表者は「病院の理念である、心のこもった医療・看護を実践して、高齢者が急増している今日において地域医療に貢献できるように、一日も早く社会のお役に立てる医療人となれますよう努力します。」と決意を述べました。

病院創立30周年、新しいステージに向けて、職員一丸となってがんばります。

入院患者
さんより

大地踏む
音確かなり
退院す
めじろ

